

第50回全国同和教育研究大会 ご 案 内 (案)

主催：全国同和教育研究協議会・第50回全国同和教育研究大会奈良県実行委員会

新秋の候となりました。それぞれの職場・地域において同和教育の推進に努力されておられるみなさまに心より敬意を表します。

さて、全国同和教育研究協議会は、地元実行委員会とともに、11月28日から30日までの3日間、水平社発祥の地、奈良において、第50回全国同和教育研究大会を開催いたします。

本年は、「世界人権宣言」50周年にあたります。全国同和教育研究大会は「世界人権宣言」や「水平社宣言」を検証軸として同和教育実践をたばね、今大会で50回を重ねることになりました。

人権擁護施策推進法の制定、「人権教育のための国連10年」に関する国および各地での行動計画の策定等、部落問題解決や人権確立の取り組みは、今新しい段階をむかえています。その取り組みのあり方を地域改善対策協議会意見具申(1996年5月17日)は、「同和問題は過去の課題ではない。この問題の解決にむけた取り組みを人権に関わるあらゆる問題の解決につなげていくという、広がりをもった現実の課題である」と示しています。

日本の人権教育を確立し、「人権と共生」の21世紀を実現していくために、同和教育が担う課題はますます重要なものとなってきています。

子どもたちが自分の存在感を奪われ、他者・社会との関係を希薄にしか持ち得ていないと思われる事件が続発し、人権に関しての深刻な事態も進行しています。さらに、被差別部落の子どもや親たちは、就学や就労、日々の生活において今なお厳しい部落差別にさらされています。

私たちは、すべての子どもたちがその存在を尊重され、共に学び育ち合うことを通して、自ら進路を切り拓いていく力を獲得することのできる教育の創造を図らねばなりません。

同和教育は部落差別の解消をはかる教育課題の実践を通して、あらゆる差別の解消をめざす教育内容の創造と実践、解放への願いと学習を通した人間連帯の組織と集団づくり、自主活動、進路保障、生活創造や文化活動など、人権文化の創造に取り組んできました。さらに同和教育の前進をはかることで、人権と共生の社会を実現していきましょう。

今回も各地の豊かな実践を持ち寄ってくださることを期待します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1998年9月

全国同和教育研究協議会 委員長 小西 清則
第50回全国同和教育研究大会奈良県実行委員会 委員長 東浦 久治

第50回全国同和教育研究大会 開催要項

- 1 テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう。
ー同和教育をすべての人びとのものとするために、部落を解放する教育の内容を創造していこうー

- 2 期 日 1998年11月28日(土)・11月29日(日)・11月30日(月)

- 3 会 場 開会全体会 ― 「奈良市中央体育館」奈良市法蓮町1516
分科会 ― 奈良市・生駒市・大和郡山市・橿原市内32会場
閉会全体会 ― 「奈良市中央体育館」奈良市法蓮町1516

- 4 日 程

	8 30	9 00	9 30	12 00	13 00	13 30	16 00	16 30
11月28日(土)	受付	開会全体会	昼食・移動	分科会				
11月29日(日)		分科会	昼食	分科会				
11月30日(月)	受付	閉会全体会						

5 主 催 全国同和教育研究協議会・第50回全国同和教育研究大会奈良県実行委員会

6 後 援 奈良県・奈良県議会・奈良県教育委員会・奈良県市長会・奈良県町村長会・奈良県市議会議長会・奈良県町村議会議長会・奈良県都市教育長会・奈良県町村教育長会・奈良県保育協議会・奈良県国公立幼稚園長会・奈良県小学校長会・奈良県中学校長会・奈良県高等学校長協会・奈良市・生駒市・大和郡山市・橿原市・天理市・桜井市・大和高田市・御所市・五條市・香芝市・三郷町・平群町・斑鳩町・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・大宇陀町・榛原町・菟田野町・新庄町・當麻町・王寺町・広陵町・河合町・上牧町・高取町・吉野町・大淀町・下市町・月ヶ瀬村・山添村・都祁村・室生村・曾爾村・御杖村・明日香村・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・東吉野村・川上村・西吉野村・大塔村・野迫川村・十津川村・奈良市教育委員会・生駒市教育委員会・大和郡山市教育委員会・橿原市教育委員会・天理市教育委員会・桜井市教育委員会・大和高田市教育委員会・御所市教育委員会・五條市教育委員会・香芝市教育委員会・三郷町教育委員会・平群町教育委員会・斑鳩町教育委員会・安堵町教育委員会・川西町教育委員会・三宅町教育委員会・田原本町教育委員会・大宇陀町教育委員会・榛原町教育委員会・菟田野町教育委員会・新庄町教育委員会・當麻町教育委員会・王寺町教育委員会・広陵町教育委員会・河合町教育委員会・上牧町教育委員会・高取町教育委員会・吉野町教育委員会・大淀町教育委員会・下市町教育委員会・月ヶ瀬村教育委員会・山添村教育委員会・都祁村教育委員会・室生村教育委員会・曾爾村教育委員会・御杖村教育委員会・明日香村教育委員会・黒滝村教育委員会・天川村教育委員会・下北山村教育委員会・上北山村教育委員会・東吉野村教育委員会・川上村教育委員会・西吉野村教育委員会・大塔村教育委員会・野迫川村教育委員会・十津川村教育委員会・奈良県農業協同組合中央会・奈良県社会福祉協議会・奈良県商工会連合会・奈良労働基準局・日本赤十字社奈良県支部・ならシルクロード博記念国際交流財団・奈良県地方自治研究センター・奈良平和人権センター・奈良県大学同和教育研究協議会・水平社歴史館・日本労働組合総連合奈良県連合会・奈良県旅館環境衛生同業組合・奈良県観光連盟・奈良県タクシー協会・奈良市観光協会・生駒市観光協会・大和郡山市観光協会・奈良コンベンションビューロー・奈良新聞社・時事通信社奈良支局・共同通信社奈良支局・奈良日日新聞社・日本経済新聞社奈良支局・中日新聞奈良支局・産経新聞奈良支局・読売新聞奈良支局・毎日新聞奈良支局・朝日新聞奈良支局・日本教育新聞関西支社・奈良テレビ放送・日本放送協会奈良放送局・日本交通公社奈良支店・奈良交通株式会社・奈良交通観光社・近畿日本鉄道株式会社・JR西日本

(順不同)

7 全体会及び分科会の構成

《全体会》

- ・開会全体会 11月28日 午前 基調報告を中心に、大会の意義を確認する。
- ・閉会全体会 11月30日 午前 各分科会の討議を総括して、今後の課題を明らかにする。

《分科会》

- 11月28日午後 11月29日 学校教育部会・社会教育部会・特別部会に分かれて、下記のテーマでそれぞれ分科会、分散会を行う。

【学校教育部会】

第1分科会（部落解放・人権確立をめざす教育の創造）

10分散会 部落解放・人権確立をめざす教育をどう創造しているか

第2分科会（自主活動） 4分散会 子どもたちの自主的な活動と学習をどのように保障しているか

第3分科会（進路・学力保障） 6分散会 進路・学力保障をどうすすめているか

【社会教育部会】

第4分科会（部落解放・人権確立をめざす地域の教育力）

2分散会 部落解放・人権確立をめざす地域の教育力をどう創造しているか

第5分科会（子ども会活動） 2分散会 部落解放子ども会をはじめ、人権確立に向けた地域の子ども会をどのように育て、どう保障しているか

第6分科会（識字運動） 1分散会 人権の獲得をめざした識字運動を、どのようにすすめているか

第7分科会（生活課題と学習活動）

1分散会 すべての住民・団体が同和教育を生活課題とどのようにむすびつけて取り組んでいるか

第7分科会（生活課題と啓発活動）

2分散会 部落解放・人権確立をめざす啓発活動にどのように取り組んでいるか

第8分科会（部落解放・人権確立をめざす文化創造）

2分散会 部落解放・人権確立をめざす文化創造・活動をどのようにすすめているか

【特別部会】

（「展示と交流」分科会） 各地の同和教育実践や啓発活動で取り組まれてきた教材や実践記録の展示を中心に交流する

（特別分科会） テーマ＝「人権文化の豊かな開花を一水平社宣言・世界人権宣言に学んで」

場 所＝奈良市中央体育館

8 分科会に提出される報告に関して

- (1) 分科会における報告討議は、全同教加盟の各都府県市同教から選出された報告者の研究・実践報告をもとに行います。
- (2) 各報告者の報告要旨を、「研究大会報告書集」として印刷・製本し、分科会における討議資料として全参加者にお渡しします。(その費用は大会資料費として会費の中に含まれています。)
- (3) 「研究大会報告書集」に掲載された報告要旨以外に、報告者が分科会・分散会参加者に報告内容をより深く理解してもらうために、補助の資料として「持ち込み資料」を用意することがありますが、これについては用意する資料部数に限りがありますので、必ずしもその分科会・分散会参加者全員に行き渡らない場合があります。「持ち込み資料」不足の場合でも増刷は行いませんので、その旨あらかじめご了解ください。

9 大会参加時の手続きに関して

- (1) どなたでもご自由にご参加いただくことができますが、参加者は大会当日に受付に会費 3,500円を納入して、「第50回研究大会参加券」(参加者名簿、大会資料引換券、領収書等を印刷した用紙)を受け取ってください。期間中一日だけの参加者も同様です。会費納入のない参加は一切認められません。
受付は、全体会場「奈良市中央体育館」に設営しています。また分科会開催中は各分科会会場にも受付を設営しています。なおこの会費には、「第50回研究大会報告書」等の資料代および1999年3月中旬に参加者宛に郵送する「第50回研究大会紀要」(研究大会における報告や討議の内容をまとめた冊子)の代金が含まれています。
- (2) 会場受付で、会費納入時にお渡しする「参加券」に、所定事項をご記入のうえ、「参加券」中の「A、参加者名簿・紀要送り先・大会資料引換券」部分と引換えに、「第50回研究大会報告書集」等の資料を受け取ってください。
- (3) 「参加券」に記載いただく事項については、それぞれ正確にご記入のうえ、ご提出ください。特に、「紀要送り先」(A票)については、郵便番号(7ケタ=あらかじめ必ずお調べください)・住所・所属校名や職場名・名前の記載が不明瞭ですと、後日郵送する「第50回研究大会紀要」が参加者のもとに届かないことがありますので、ご注意ください。
- (4) 分科会に参加される際にも、該当日の参加者名簿の部分(第一日=B票、第二日=C票、第三日=D票)に所定事項をご記入のうえ、それぞれの会場の受付に必ず提出してください。

10. 宿泊・弁当について(詳細については別紙参照)

1 宿泊日および宿泊地

〔宿泊日ー11月27日(金)・28日(土)・29日(日)の3日間
宿泊地ー奈良市周辺・橿原市周辺・大阪府内・京都府内の各ホテル・旅館〕

2 宿泊料金及び条件

詳細については(第50回全国同和教育研究大会「宿泊・弁当・航空のお申し込み案内」)を参照してください。

宿泊地	宿泊料金	宿泊タイプ	※別紙参照
奈良市	8,000～15,500	旅館、ホテル	
橿原市	8,000～	旅館、ホテル	
大阪府	7,500～12,000	ホテル	
京都府	7,500～12,000	ホテル	

3 弁当について……一食800円(お茶付)

11. 宿泊・弁当の申込み・問い合わせ先

申込み・問い合わせ先

- ・申込み先 〒630-8225 奈良市西御門28北川ビル3F JTB奈良支店内
第50回全国同和教育研究大会幹旋センター 宛
- ・問い合わせ先 (受付時間 月～金 09:30～17:30)
☎ 0742-27-0081 FAX 0742-27-3206
担当:丸山、村田、今市

※ 申し込み期限 1998年 10月 6日(金) 必着

12. 交通関係について

- ①全体会場および周辺に駐車場はありません。公共交通機関を利用してください。
- ②各分科会場には、駐車場がありません。公共交通機関を利用して、各分科会場に移動してください。

- ③全体会場に貸し切りバスの駐車場を用意します。但し、数に限りがありますので、貸し切りバスで来られる場合は、10月末までに大会実行委員会にお申し込みください。申し込み順に駐車券を発行いたします。満車になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。

13. その他

- 1 分科会での報告や論議は、これまでの研究大会の積み重ねの上にたって行われますので、大会参加にあたっては、「全同教1998年度『研究課題』」及び「第50回研究大会分科会『討議課題』」等を、あらかじめご一読のうえご参加ください。
なお上記「研究課題」「討議課題」は、全同教機関誌・月刊『・・・』に掲載しています。お求めになりたい場合は、全同教事務局までご連絡いただければ、実費でお送りいたします。
- 2 大会期間中、全体会場及び各分科会会場で、書籍・資料等の展示と実費頒布を行いますので、ご活用ください。ただし書籍・資料等の展示・頒布は、大会運営委員会で認められたところ以外はできません。またビラ・署名などは一切認められませんのでご了承ください。
- 3 各分科会会場では、スリッパ等の上履きを準備いただいているところもありますが、会場によってはたりないところもあります。できるだけ各自でスリッパ等の上履きをご持参いただけるようお願いいたします。
- 4 全体会場および、分科会・分散会場には、駐車場がありませんので、車での参加はご遠慮ください。

14. 主催者及び開催地実行委員会連絡先

連 絡 先	〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 部落解放研究教育センター内 全国同和教育研究協議会 事務局 ☎06(568)0418/FAX 06(568)6467
	〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1奈良県解放センター内 第50回全国同和教育研究大会奈良県実行委員会 ☎0742(62)5555/FAX 0742(62)5568